

## 中学校適正配置（学校再編）の意見交換会の概要

| 期 日            | 平成 25 年 2 月 15 日（金）   | 時 間  | 19：00 から 21：02 まで |
|----------------|---|--|-------------------|
| 場 所            | 市総合保健福祉センター 2 階研修室（福島中学校区）  |  |                   |
| 出席者（学校関係者を含む。） | 34 名  |  |                   |
| 事 務 局          | 教育委員（教育長を含む。）5 名<br>学校政策課長、生涯学習課長、学校政策課長補佐、学校政策課指導主事、施設係長、教育総務係長  |  |                   |
| No.            | 質 問   | 教育委員会説明・回答   |                   |
| 1              | 大規模校と小規模校の学力に違いがあるのか。   | 一概に大規模校だからいいとか、小規模校だからいいということはいえない。  |                   |
| 2              | 再編にあたって仮に福島中学校になった場合に、魅力ある学校でなければよそに流れていく生徒も増えるのではないかと考える。そういう意味でスーパーティーチャーであるとか部活動に優れている先生とか、どのあたりまで人事に関して市の意見が届くのか。 | 人事については県教育委員会が決めるが、市教育委員会としてお願いはするが、県教育委員会は県全体としてバランスをとっていくので、必ずしもその要求が 100%認められるものではない。   |                   |
| 3              | 学校再編によって統合された場合と従来の学校数の場合において、生徒一人の教育費は変わるのか。   | 平成 24 年度では児童生徒一人あたりの費用が小学校で 191,553 円、中学校で 193,960 円となっている。中学校の再編により中学生一人ひとりに係る経費は減らないが、施設が集中することにより施設管理費が削減することは想定される。ただ、学校数、児童生徒数などにより地方交付税措置がなされているので、今後の検討になる。 |                   |
| 4              | 人事に関して市の要望はどのくらい県教育委員会に届くのか。  | 全県下において公平公正に行われる。県教育委員会と協議はあるが、100%生かされるかは難しい。   |                   |
| 5              | 最終的に学校再編は 1 校なのか。   | 学校数については決定していない。教育委員会の中で協議をしており、1 校でいいのではないかという意見や、段階的に再編していった方がいいという意見があり、今後、串間市の中学校がどうあればいいのかということを決めさせていただいて、新年度に入って計画を作りお示しする。                                 |                   |

|   |   |   |
|---|---|---|
| 6 | <p>学校再編は子どもの意見が重視されなければならないと思うが、本城、都井、市木では小学校6年間、中学校3年間は友達が変わらない、減ることはあっても増える状況ではない。有明小などの小学生が福島中学校に入っただう感じたのかなど子どもの意見は聞いて、本城小、都井小、市木小の子どもにも示すべきだと思うが。</p>  | <p>子どもの率直な意見や保護者からアンケートをとる必要があるのではないかという意見が出ているが、保護者などの意見を聞くために教育長と語る会として設定した。子どものアンケートはとっていないが、今後とも考えは今持っていない。子どもたちの環境を整えていくのは大人の責任であり、部活動など子どもたちにも聞く部分もあり、分けて考えなければいけない。</p>  |
| 7 | <p>小さい学校でもいい所があると思うが、なぜ伸ばそうとしないのか。人口減になる中で行政がどれだけ頑張ってきたのか。市民や子どもや保護者に押しつけではなく、行政がどれだけ頑張って小学校を活性化できたのか。</p>  | <p>小さい学校の子どもだから思いやりの子どもが育たないと説明していない。小さい学校は小さい学校なりに先生方は一生懸命に努力して子どもたちを育てている。小さい学校でも福島小学校や福島中学校でも等しく先生方は一生懸命に育てていただいている。地域の子どもを育てていくことは学校教育だけではなく、生涯学習でも社会教育の分野で、地域の中で地域の大人が子供を育てることもある。地域の伝承芸能を子どもたちがしっかり伝えていけるような取組もしている。学校でも子どもたちに体験をさせて育てていこうということで、宿泊体験学習を学校ごとに設定して行ってきた。ある一定の集団が形成されないと難しいという実態があって、市教育委員会では社会教育的な観点からふれあい体験を実施していたが、今年度から学校行事の一環として小学5年生すべてが同じ日程で行っている。</p> |
| 8 | <p>串間市から日南市の中学校に行っているが、それは串間市では学力が低いからという状況もあると思う。また仕事がないので日南市や志布志市へ行かざるを得ない。串間市での職場がないこと、学力向上ができていないこと、先生方がどれだけ頑張ってきたのか、中学校と高校の成果がどれだけあがってきたのか。学校再編によっ</p> | <p>学力の向上のために市を挙げて取り組んでおり、小中高一貫教育という中の大きな柱建てとして、学力向上を掲げ、市内の小学校、中学校、高校の先生方が一致団結して市内の子ども達の学力向上のために取り組んでいる。平成23年度から重点化と進化を掲げ、学力向上と地域に貢献できるような、または串間を自慢できるような子どもに育てていこうという2本の柱で取り組ん</p>  |

|    |  |   |
|----|--|---|
|    | て学力と体力向上、友達関係が良くなるのか。  | でいる。成果が徐々にではあるが、そういう子どもが表れてきていると思う。串間の子どもたちはより良い環境の中で育っていきけるような、社会に出ても通用するような人材を育てていく思いの中で私たちは新しい学校をどういう風に組み上げていけばいいのかを柱建てをして取り組んでいる。   |
| 9  | 今後のスケジュールで、平成25年度6月までに学校再編の基本方針及び実施計画素案を作成し、平成25年7月に素案の保護者及び地域住民への説明、パブリックコメントの実施とあるが、出た意見をどのように反映するのか、また、大幅な変更があるのか。  | 地域、保護者、子どもの願いを大事にしたいと考えている。パブリックコメントで意見を出していただき、子どもたちの立場でみた場合に賛同できるものがあれば、教育委員会で協議する。   |
| 10 | 県教育委員会に対する教職員の人員の確保や魅力のある先生にきってもらうのは行政力や思いであると思うが、どういうふうに整理されるのか。再編された場合の教職員数はどうなるのか。  | 仮に1校になった場合に、単純に計算すると学級に応じて先生が増えたり減ったりする。小中学校の教職員が約80人いるが、3分の2ぐらいになると思う。県教育委員会に対して市教育委員会が期待することは、施設の改修は難しいが、加配により特別支援学級の担任を増やすとか、少人数学級の人数を増やすとか、それ以外は市の負担となる。  |
| 11 | 学校選択制の導入について、校区にとらわれずに自由に学校を選ばれるようにしようとして文部科学省がいつている。このことについて検討を深めていただければよかたのかと考える。宮崎県の流れでは小中一貫校が進んでおり、日南市や日向市などで取り組んでいる。小中一貫校は小学校と中学校の絆を強くして、地域とともにある学校づくりをしていこうということで進められている。小中一貫校にすることによって中学校入学段階での中1ショックが小学生には根強くあるが、中学校で衝撃を受けるということが一貫校の取組によってかなり軽減され | 私たちが考えているのは子どもである。再編をしたくないという気持ちはない。串間市の子どもがどんな学校に行ってもどんな学校ができるのか、教育委員会では夢を膨らましている。いろんな工夫をして地域を活性化していくことは学校だけが理由の一つではない。全体的に考えていかないと教育委員会だけでは解決できない問題なのかもしれない。学校選択制は広がっていない。その成果は下がっている。小中一貫校は教育委員会でも話題になり、今回の目的が同級生を増やしたいということであり、小学校と中学校をまとめると学校規模は大きくなるが、同級生は増えない、複式学級は解消されない。 |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>るのではないかと考える。まず学校選択制を導入し、今後の児童生徒の行方、保護者の希望を時間をかけて聞き、議論を詰めていかなければいけない問題であり、真剣にみんなが語りあってこそいい結果が生まれてくると思う。メリットとデメリットをしっかり住民に示してしこりが残ることがないように進めていただきたい。</p> |  |
|--|--|--|

| No. | 意見等  |
|-----|--|
| 1   | <p>平成19年の統廃合の計画を基にして、現在まで保護者会への説明をしたり、教育振興懇話会、学校の将来を考える会、小中学校規模適正化審議会を経てきて4、5年経つが、教育委員会でも検討された中で問題を絞りながら意見を聞いて、どういう状況で統廃合を考えるのか、財政面、教職員の配置など、意見を集約して適正な判断をしていただき、議会にも説明し、結論を早く出していただきたい。</p> |
| 2   | <p>基本方針の5つの柱を考えると1つにするしかないと思うが、基本方針に縛られずに、どのような方向性がいいのか考えていただきたい。</p>  |
| 3   | <p>学校をなくすと二度と再開できないことは説明したが、一つになれば二度と開校することは難しいということを良く考えていただいて進めていただきたい。</p>  |
| 4   | <p>地域と学校の絆を切るようなことはしてほしくない。</p>  |
| 5   | <p>メリット、デメリットも示して住民アンケートを実施してほしい。</p>  |